

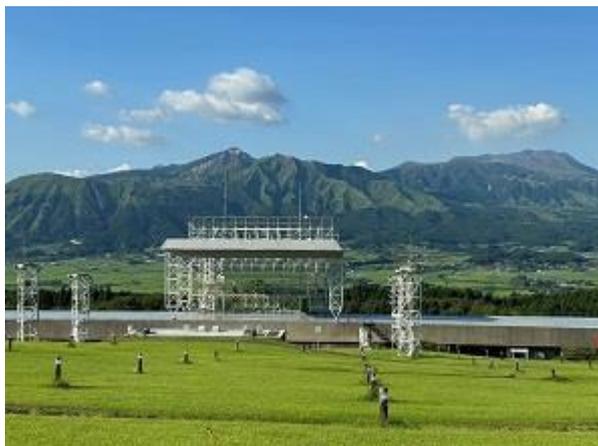
2024年8月度のボーイスカウト福岡第14団の報告について

1 ボーイ隊

- 日時：8月2日（金）～7日（水） 第10回九州沖縄野営大会（10KC）
熊本県南阿蘇村阿蘇野外劇場アスペクタ

九州・沖縄各県のボーイスカウト約600名が野営活動を通じてスカウト同士の友情をあたため深めるとともに、日頃の訓練の成果を十分に発揮し人として最も大切な徳を磨き、自他とともに「命の大切さ」を体得することを期待して本野営大会が開催されました。

今回の野営大会に自団からスカウト5名と指導者2名が参加しました。暑い中での活動でしたが、他県スカウトとの交流など楽しい時間を過ごせたと聞きました。





2 ビーバー隊

○ 日時：8月4日（日）ボーイ隊10KCのビーバー・カブデに参加 阿蘇野外劇場アスペクタ
カブスカウトと共に参加し、各ブースでは工作や自然観察等の様々な体験活動が盛り沢山に
企画され、スカウト達は日頃の集会ではなかなか体験できない活動に真剣に取り組みました。ま
た、ボーイ隊の野営している派遣隊サイトの見学もさせていただき、帰宅後の年長スカウトの思
い出話も、より実感を伴って話を聴けたことでしょう。

行き帰りのバスでは、ボーイスカウトに関する映画（ジャングルブックなど）も鑑賞し、同
行の保護者とともに改めてカブ部門の題材となっている物語の理解を深めました。

今回の野営大会の見学で、日頃はデイキャンプや舎営のビーバー・カブスカウト達が野営に
興味を持ち、よりダイナミック、そしてアクティブな活動ができるボーイ隊への上進の意欲に繋
がったのであれば指導者として嬉しく思います。





○ 日時：8月25日（日） 夏祭りごっこ・スイカ割り 於 可也コミュニティセンター（糸島市）

夏休み最後の集会は、夏祭りごっこを行いました。自分達で割り箸鉄砲を作って射的をしたり、魚釣り、ボールを使った的当てなどの各種ゲーム、そしてくじ引きなどを体験しました。屋台も本格的です。舟皿に美味しそうに盛り付けられたたこ焼き、フランクフルト、インスタ映えする目にも美味しいフルーツポンチ。さらにすいか割りなども楽しみ、夏休み最後の楽しい思い出としてスカウト達の心に残ったことでしょう。ビーバー隊では子どもの想像力を育む「ごっこ遊び」や、家庭や学校ではなかなか体験することが難しいような様々な体験活動をとおして、今後も青少年の健全な育成に努めてまいります。





3 カブ隊

○ 日時：8月17日（土）～18日（日）夏季キャンプ 鹿家公民会

内容：あそびの極意

目的：好奇心と冒険心を満足させる

所属意識を伸ばし、目的を達成したときの充実感を感じさせる

今年は保護者からの要望もあり、ペットボトルでいかだを作って海で遊びたいを目標に、スカウト達は6月の組集会から設計図をそれぞれ書き、打ち合わせをして7月の組集会で二人乗りのいかだ製作が始まりました。今回はデンリーダーと指導者で事前に試作しました。20のペットボトルが約300本接着はビニールテープと養生テープと、PPロープです、最後の仕上げは鹿家公民館で行い、旗も作っていざ海へ！ゲームは二人一組になってのリレーです。波が邪魔してまっすぐ進みません。でもスカウトはそんなの関係ないようで大喜びでオールを掻いていました。



コロナ禍や雨天などで営火ができておらず、5年ぶりの営火です。ボーイスカウトのキャンプファイヤーは営火と言って、夜の音を聴きながら厳かにはじまります。火の神が登場して、組長の2人に火が分けられ、ともに点火します。近くて大きな炎にスカウトたちは緊張しながらも、練習したスタンツを披露しました。

今回はかまぼこ板に将来やりたい事ややりたい自分を書き、それらに願いを込めて炎に投じることもしました。



二日目は、いかだの解体を行い、すべての材料を分別してペットボトルは近くのお店にリサイクルしました。お昼ご飯はおなじみのカートンドッグです。ホットドッグを作り、牛乳パックにいれて、マッチで着火体験。マッチは擦れるが、火が牛乳パックにつきません。点火しても途中で消えないか心配です。出来上がったホットドッグは少し焦げていてもおいしかったです！



最後は撤営です。感謝と次に使う人のために心をこめてお掃除します。二日間の滞在でしたが、今年もスカウトたちはたくさんの体験と思いを胸に、そして夕食と朝食と準備してくれたお母さんやお父さんたちにも感謝をして、帰路につきました。